

建設経済分科会 会議記録

- 1 期 日 令和3年3月26日（金）
午前11時42分 開会
午前11時53分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 福田 嗣久
副委員長 清水 寛
委員 足田 仁司、石津 一美、
岡本 昭治、木谷 敏勝、
椿野 仁司、村岡 峰男
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼総務係長 小林 昌弘
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

建設経済分科会長 福田 嗣久

建設経済分科会 次第

日時：2021年3月26日(金) 本会議休憩中
場所：第3委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

ア 分科会審査

(ア) 第51号議案 令和2年度豊岡市一般会計補正予算(第27号)

(イ) 第52号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第2号)

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

建設経済委員会名簿(3/26)

=3/26建設経済委員会出席不要

【委員】

| 職名 | 氏名 |
|------|-------|
| 委員長 | 福田 嗣久 |
| 副委員長 | 清水 寛 |
| 委員 | 足田 仁司 |
| 委員 | 石津 一美 |
| 委員 | 岡本 昭治 |
| 委員 | 木谷 敏勝 |
| 委員 | 椿野 仁司 |
| 委員 | 村岡 峰男 |

8名

【当局】

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 環境経済部長 | 坂本 成彦 | 環境経済課長 | 午菴 晴喜 | | |
| 環境経済部参事 | 小林 辰美 | 大交流課長 | 谷口 雄彦 | 大交流課参事 | 藤原 孝行 |
| コウノトリ共生部長 | 川端 啓介 | 農林水産課長 | 柳沢 和男 | コウノトリ共生課長 | 宮下 泰尚 |
| | | 農林水産課参事 | 井垣 敬司 | 地籍調査課長 | 西谷 英 |
| 都市整備部長 | 澤田 秀夫 | 建設課長 | 富森 靖彦 | 建築住宅課長 | 山本 正明 |
| 都市整備部参事 | 河本 行正 | 都市整備課長 | 石田 敦史 | 都市整備課参事 | 北村 省二 |
| 城崎振興局長 | 熊毛 好弘 | 地域振興課参事 | 橋本 郁夫 | 城崎温泉課長 | 植田 教夫 |
| 竹野振興局長 | 瀧下 貴也 | 地域振興課長 | 榎本 啓一 | | |
| 日高振興局長 | 小谷 士郎 | 地域振興課参事 | 吉田 政明 | | |
| 出石振興局長 | 村上 忠夫 | 地域振興課参事 | 川崎 隆 | | |
| 但東振興局長 | 羽尻 泰広 | 地域振興課参事 | 小川 一昭 | | |
| 上下水道部長 | 米田 眞一 | 水道課長 | 谷垣 康広 | 水道課参事 | 和田 哲也 |
| | | 下水道課長 | 石津 隆 | 下水道課参事 | 堀田 政司 |
| 農業委員会事務局 | | 農業委員会事務局長 | 丸谷 祐二 | | |

2名

【議会事務局】

| 職名 | 氏名 |
|---------|-------|
| 主幹兼総務係長 | 小林 昌弘 |

1名

計 11名

午前 11 時 42 分開会

○分科会長（福田 嗣久） ただいまから建設経済分科会を開会いたします。

協議事項、分担案件の審査に入ります。

スムーズな議事進行に格別のご協力をお願い申し上げます。

それでは、第 5 1 号議案、令和 2 年度豊岡市一般会計補正予算（第 2 7 号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 補正予算第 2 7 号の説明をさせていただきたいと思いますが、お手元の資料の 2 7 号の概要というペーパーで説明させていただきたいと思います。

内容につきましては、議場で小林部参事が説明したとおりでござい……（「政策調整部長」と呼ぶ者あり）はい、政策調整部長が説明したとおりでございます。

改めて、補正予算に、9 月の補正予算でお認めいただきまして、安定したスキー場経営のためにということで、造雪機の導入に対する補助を県に随伴をして決定をいたしました。概算払いもしておったんですけれども、このコロナ化の影響によりまして、海外からの造雪設備の調達に不測の日数を要したために繰越しをさせていただきたいという内容でございます。以上でございます。

○分科会長（福田 嗣久） 以上ですか。説明は終わりました。

質疑は、委員の皆様、ございませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 当然、9 月の補正ですから、このシーズンは間に合うと、このシーズンのために使うということで補正をしたと思うんですが、調達できなかったから、じゃあ、このシーズンは全然もう役に立たずというか、できないというか、もう来シーズンに向けてということになるんですね。

○分科会長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 当初からシーズンの終了間際にぎりぎり間に合ったらというようなこと

を予測をしてたんですけれども、結局そこも間に合わず、結果といたしまして、来シーズン以降での活用ということになります。

○分科会長（福田 嗣久） どうぞ、岡本委員。

○委員（岡本 昭治） ちょっと確認です、簡単にします。

まず、参考のために、このスキーの除雪、除雪じゃない、造るほうですね、の機械ってどこから入れる、どこの国からとか、導入先が、たしか聞いてたかも分からないんですけど、どこに設置されるかというのは。

○分科会長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 調達先はカナダのメーカーだというふうに向ってまして、中国を経由して日本に入ってくる予定だったんですけど、その船便が遅れてるということでございます。設置先は、アップかなべのスキー場での設置を想定いたしています。

○委員（岡本 昭治） はい、分かりました。ありがとうございました。

○分科会長（福田 嗣久） ほかの委員の皆さん、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） それじゃ、質疑を打ち切ります。

討論はございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） ご異議なしと認めます。

よって、第 5 1 号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

続いて、第 5 2 号議案、令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、歳出、歳入の順に説明をお願いいたします。

それじゃ、大交流課、谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 議案書の17ページをお開きいただけますでしょうか。（「ちょっと待ってください」と呼ぶ者あり）はい。（「それじゃ、どうぞ」と呼ぶ者あり）

観光事業費といたしまして、3,050万円の予算を計上させていただいております。内訳につきましては、業務委託料、広告宣伝業務といたしまして242万円、それから補助金、但馬地域宿泊促進事業費として2,808万円の予算を計上させていただいております。これまで、国のGOTトラベルキャンペーンが再開されるまでということで、3月7日までSTAY豊岡+（プラス）という形で市民の同居家族に限った市内の宿泊の促進事業をさせていただいております。

我々としては、緊急事態宣言が解除されるに伴って、GOTトラベルキャンペーンも再開されるのではないかと期待を持っていたんですけども、3月7日以降、首都圏での解除は凍結されたまま、さらにGOTトラベルも凍結されたままということで時間が経過いたしまして、今回、首都圏の緊急事態宣言も解除されたわけですけども、国のGOTトラベルキャンペーン再開は、聞くところによりますと、早くもゴールデンウィーク明けになるだろうというふうに言われております。一方、城崎温泉を中心とした宿泊業のほうに調査をしたり、ヒアリングいたしますと、もともと4月、5月というのは閑散期でお客さんが少ない上に、2019年、一昨年と比較をして、相当予約の入り方が悪いというような状況でございます。そうしたことから、GOTトラベルキャンペーンの再開までの下支えと、観光業を下支えするという施策を改めてSTAY豊岡という形で再開をさせていただきたいと、この場合、対象者につきましては、比較的感染リスクの低いということで、但馬地域に拡大させていただいた上で、同居の家族ということに縛った中で宿泊料金5,000円以上1万円未満の方につきましては3,000円、1万円以上につきましては5,000円の補助をさせていただくという内容になってございます。以上でございます。

○分科会長（福田 嗣久） 説明は終わりました。質疑はありますか。

○委員（椿野 仁司） 今いいか。谷口課長が言ったのは……。

○分科会長（福田 嗣久） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） あ、ごめんなさい。明細があったの、詳細なのがあったけど、それどこ行ってしまった。

○分科会長（福田 嗣久） これ、ちゃうか。

○委員（椿野 仁司） どれだったっけ。それ出してほしい、出して。

○分科会長（福田 嗣久） ちょっと待ってよ。

○委員（椿野 仁司） ごめんごめん、ああ、出てきた出てきた。

○分科会長（福田 嗣久） どうぞ、椿野委員。それでよろしいか。それだな。

○委員（椿野 仁司） これだね。

1つだけ。1つだけというか、補助額の中で括弧がスキー場周辺地域宿泊割引支援事業と、これは県の事業が2,000円だったかな、何かこれはまだ続いているということで、スキー場周辺の地域は5,000円じゃなくて3,000円っていうことになるんですね。これって、兵庫県のやつはいつまで、4月30日までということは、4月の30日以降は、じゃあ、同じ補助額は、対象は同じことになるんですね、確認です。

○分科会長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） ご指摘のとおり、県のスキー場周辺への支援策といたしまして、4月30日までそれぞれ2,000円の補助がありますので、それを活用しつつ、トータルとして同額の補助ができるようにということで、4月30日までの限定、さらに神鍋周辺地域限定ということで額の差を設けてございますが、5月1日以降は同額にさせていただくことといたしてございます。

○分科会長（福田 嗣久） 椿野委員、よろしいか。どうぞ。

○委員（椿野 仁司） 補助対象者ってということで、ここは但馬地域に居住している方ってってなんだ

けど、さっきは、谷口君のほうからは同居の家族ということをしたしか今、言いなっただけ、同居の家族ってどこに書いてあるのかなど。同居の家族ってどこに書いてある。

○分科会長(福田 嗣久) 谷口課長。

○大交流課長(谷口 雄彦) すみません、配付させていただいた資料にそこまでちょっと厳密には書いておりませんが、運用のところ、リスクを抑えるという意味で同居の家族に限定をしたいというふうに考えてございます。

○委員(椿野 仁司) はい、分かりました。

○分科会長(福田 嗣久) ほかの委員の皆さんはどうですか。

村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 今の続きのような話なんですけど、補助対象、但馬に住んどる同居家族、但馬っていうのは比較的コロナの影響が小さいという表現になっておるんですけど、この1月、2月、あるいは3月、豊岡市の発生率っていうのは、ある意味では非常に高いと思うんですね。低いのは養父市と、まあ、美方郡ぐらいなもので、豊岡市と朝来市はそんな低いとは言い切れないと思うんですけど、大丈夫ですか。

○分科会長(福田 嗣久) 谷口課長。

○大交流課長(谷口 雄彦) 同居の家族ということで、常日頃一緒に生活されていらっしゃる方々に限定をして補助させていただくことにしておりますので、一概に豊岡で発生率が高いからということとは直接的には影響、直接的にはといたしますか、そこはその同居の家族と縛るところによってある程度リスクを軽減できるんじゃないかというふうに考えておりますけれども、一方で、国のG o T o トラベルキャンペーンの再開の状況と、地域ではウイルス感染の状況も踏まえた上で、途中でやめたりということも当然視野に入れながら運用したいというふうに考えてございます。

○委員(村岡 峰男) はいはい、いいです。

○分科会長(福田 嗣久) 村岡委員、よろしいか。

○委員(村岡 峰男) はい。

○分科会長(福田 嗣久) ほかの委員の皆さんは、よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(福田 嗣久) それじゃ、質疑を打ち切ります。

討論はありませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(福田 嗣久) お諮りいたします。本案は、原案のとおり、可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(福田 嗣久) ご異議なしと認めます。

よって、第52号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

以上で当分科会に分担されました議案の審査は終了でございます。

この際、当局の皆さんから発言はございませんね。

(「ございません」と呼ぶ者あり)

特にないようでしたら、当局の皆さんはここで退席してください。ご苦労さまでした。

ちょっと委員の皆さん、もうしばらく。

それでは、本日審査いたしました第51号議案、令和2年度豊岡市一般会計補正予算(第27号)と第52号議案、令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第2号)について、分科会審査における意見・要望について、ご発言があればお願いします。なければ結構です。よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(福田 嗣久) それじゃ、ないようでございますので、それは付記しませんので、よろしくお願いをいたします。

それじゃ、その他委員の皆さんから何か、特別ございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(福田 嗣久) それじゃ、以上をもちまして建設経済分科会を閉会といたします。大変ご苦労さまでございました。

午前11時53分閉会